

(様式1)

院長	副院長	看護部長	技術部長	事務部長	課長	課長補佐	係長	係
城下智	白川	小澤	平川	田中	大根	青林	中村	平川

国保依田窪病院 倫理審査申請書

令和 6 年 10 月 21 日 提出

国保依田窪病院院長

倫理委員会委員長 様

申 請 者

部 署 診療技術部 リハビリテーション科

氏 名 清水 大生

部署長 平川 和彦

部門長 平川 和彦

※ 受付番号 No.

1. 課題名	病棟内でのレジャー(余暇活動)に着目した症例
2. カテゴリー	☐ 疫学的な調査のための臨床研究 ☐ 診断及び治療法の効果を調べる臨床試験 ☐ 学会等提出論文 ☐ 委託研究または製造販売後調査 ☒ その他 (長野県作業療法士会現職者研修会での症例報告)
3. 実施 責任者名	診療技術部 リハビリテーション科 清水 大生
4. 実施 分担者名	同上
5. 医療の概要	実施期間 令和 5 年 5 月 18 日 ~ 令和 5 年 6 月 16 日 まで 概 要 高齢で認知症のある患者への介入、受傷後の臥床傾向や活動性低下に対する作業療法の実施
6. 医療の対象並びに実施場所	対象例数 1 例 医療対象 当院入院、手術患者 実施場所 作業療法室
7. 実施計画書	別紙
8. 医療における倫理的、社会的配慮について	(1) 医療の対象となる者の人権擁護 (2) 医療の対象となる者の理解と同意 (3) 医療の対象となる者に生ずる危険性と不利益に対する配慮 (4) その他
9. 審査資料	☒ 実施計画書 ☐ その他 ☐ 同意説明文書及び同意書

注意事項 1 1～5は必ず記入し、ファイルをメールまたはメディアに保存し提出すること。

2 審査対象となる別添資料があれば、全て添付すること。(別添資料添付漏れのある場合審査できません。)

3 ※印は記入しないこと

研究実施計画書

令和 6 年 10 月 21 日
リハビリテーション科
作業療法士 清水 大生

【研究目的】

作業療法士として臨床実践に臨むにあたり、今後より良い治療に結びつくよう学術研鑽を行い、知識と技術・技能を向上させる。

【研究の方法】

令和 5 年 5 月 18 日～令和 6 年 6 月 16 日の期間担当させていただいた 1 症例の経過をまとめ、治療内容・結果を学術的に考察し、「長野県作業療法士会現職者研修会」にて症例報告を行う。

令和 5 年 5 月 18 日～令和 6 年 6 月 16 日の期間の症例カルテより以下の項目について情報を収集し、治療の経過をまとめる。

情報収集を行う項目

- ① 基本情報（性別・年齢）
- ② 現病歴、既往歴、薬歴
- ③ 検査値、画像（レントゲン、CT 等）
- ④ 手術内容、治療内容、治療経過
- ⑤ 作業療法評価結果
 - (ア)心身機能（関節可動域、筋力、認知、精神）
 - (イ)日常生活活動動作の自立度
 - (ウ)日常生活活動での離床機会や作業への参加状況
 - (エ)主観的感情

■本研究にあたり

事例報告書症例に何ら不利益を受けることはありません。
費用負担はありません。